

これまでのヒアリング概要（農業法人経営者・農業従事者）

（事務局において集約したもの）

1 車両系農業機械の災害の特徴に関すること ※自社だけでなく周りの方を含む

機械の操作誤り、修理時等の動力の遮断不備、アタッチメント交換時の確認不足、逸走防止措置の不備、キャビン・ヘッドガードの欠如、運転席から離れる場合のインターロック機能の欠如等が見られる。

- トラクター、コンバイン等
 - ・ 操作の誤り（ブームの折りたたみミス、連結ペダルのミス、傾斜地での操作ミス等）によりバランスを崩して横転した。
 - ・ 修理等の作業において、動力を遮断せずに作業を行い可動部に巻き込まれた。
 - ・ 中山間地を走行中に傾斜地で横転した。
 - ・ アタッチメント交換時にサイドブレーキをかけず、車両が逸走して挟まれた
 - ・ エンジン始動時の急発進によるヒヤリハットの経験の経験がある。
- スピードスプレーヤー（以下「SS」という。）
 - ・ 散布作業に集中し前方の樹木に気づかず激突した。
 - ・ SS の移送時の積み卸し作業時に SS が横転した。

2 車両系農業機械の安全教育、安全装備及び点検等に関すること

○ 安全教育

機械メーカーによる操作方法等の説明、都道府県主催の講習会への参加、自社で実機を活用した教育等、一定の対応は行われているものの、事業者によって対応はまちまちの状況が見られる。

○ 安全ルールの策定状況

安全対策の進んだところでは、危険箇所の把握・情報共有・改善、明るい時間帯の作業体制の確保、作業機の使用前メンテナンスを行っている状況も見られる。

○ 安全装備

- ・ 常態としてシートベルトを着用していないケースがある一方、シートベルトやヘルメットの着用を徹底しているケースも見られる。
- ・ SS にはそもそもシートベルトが設置されていないものがある。SS は車高が低いので安全フレームは設置・使用は可能とのこと。
- ・ 作業の快適性、安全への配慮から、キャブ付きのトラクターを選んでいる状況も見られる。

○ 点検

メーカーによる年次の整備・保守点検の実施のほか、自社において作業開始前の点検、日常的な点検が行われているが、点検頻度や内容等は様々。

- 安全教育・安全ルール
 - ・ 機械メーカーにお越しいただき現地で使用方法や作業手順の説明を受けている。

- ・ 都道府県主催の研修会、セミナー等に参加している。
 - ・ 自社において、機械の操作を行って見せた上で、実機に乗車させて操作方法やスピードを逐一教えている。また、教えたとおりにできているか改めて確認している。
 - ・ 機械の安全な使用に関する安全のルールについて明文化はしていない。
 - ・ 作業前のミーティング等を行っていない。
 - ・ 作業の安全については、作業者と一緒に危険箇所の巡回を行うことや、お互いにヒヤリハットの情報共有を行うことなどの取組を行っている。また、明るい時間帯に作業ができるように心がけること、夕方の暗い時間帯にはあまり作業しないようにすること等、情報を共有している。危険箇所はなるべく早めに改善を行うようにしている。
 - ・ 機械の使用前のメンテナンスや、作業に入る前に圃場の周辺状況確認を作業車と一緒にしてから作業をお願いしている。
 - ・ 使用者の体格に合わせて、使用するトラクターの大きさを決めている。
 - ・ OJT により、作業者と、危ない動作や場所（角度がきついところや狭いところ）について共有し、必要に応じて作業者の動作の確認を行っている
 - ・ コンバインの刈り取りスピードについて、つまりが発生しないよう調整して行っている。
- 安全装備
- ・ トラクター等ではシートベルトは設置されているが装着していない。キャビンが守ってくれる。シートベルトをするとすぐに降車できない。
 - ・ トラクター、ローダー等の全ての機械でシートベルト及びヘルメットの着用を徹底しており、従業員は使用が当たり前になっている。キャビンがあってもヘルメットがないと危険。
 - ・ 使用している SS にはシートベルトがない。キャビンフレーム付きもあるがフレームが邪魔になり導入しにくい。SS は安全フレームがあっても車高が低いので対応可能。トラクターの安全フレームは果樹園では邪魔で使えない。防除用ヘルメットを使用すると視界が遮られるため、視界の広いヘルメットが欲しい。
 - ・ トラクターの選定は、安全への配慮、天候による暑さや寒さ、降雨中での作業等も考慮し、キャブ付きのものを選んでいる。
- 安全点検
- ・ 作業開始時には全体を目視、異常がないか確認すること、使用中に異音や異常な振動があれば、作業を中止し点検すること、点検する場合は必ずエンジンを停止すること等を周知している。
 - ・ 自社で掃除やメンテナンスなどの日常点検を実施。メーカーによる整備、保守点検（年次）を実施。機械購入時、更新時にメーカーによる説明を受けるほか、県主催の研修会等に参加。
 - ・ 機械の不具合発生時には P T O ・ エンジン停止を励行している。

3 農業機械に求める安全対策等に関すること

トラクター、コンバイン、SS 等の車両系農業機械全般について、運転席を離れた際の停止装置の設置に関する要望があった。また、SS について、転倒しにくい車体バランス、安全フレームの設置、防除用ヘルメットの作業性の向上に関する要望があった。その他、作業効率にも配慮しつつ安全対策を考えてほしいとの要望があった。

- ・ オペレーターが運転席から離れたら作動が停止（P T O 等）する仕組みがあると良い。

- ・ 車体バランスのとれた車両、小回りの利く車両のほか、離席時に進まない機構、視界が広い防除用のヘルメットがあると良い。
- ・ 作業効率にも配慮しつつ、農機の緊急停止機能や高所作業時の飛び出し防止対策を考えてほしい。

4 その他

- ・ 慣れが日常的になると思わぬ事故に繋がることを従業員に教えること、時間に追われることの無いゆとりを持った作業工程とすることを心がけている。
- ・ SS の運転は大きな事故につながる恐れもあり他の人に運転させられない。
- ・ 農業用高所作業機を用いて、ハウス栽培でのビニールの張り替え等が行われているが、作業自体が危険。
- ・ 果樹園では多くの果実を収穫することを目的とした樹形となっている。シンプルな樹形にすれば安全性や作業の効率化にもつながる。